

北海道鉄道活性化フォーラム「みんなで乗れば、未来が変わる」結果概要

●「持続的な鉄道網の確立」に向けて、厳しい現状にある北海道の鉄道ネットワークの課題を把握し、その解決に向けて認識を共有するため、北海道鉄道活性化フォーラムを開催しました。

日時：令和5年11月20日(月) 14:00～15:50 参加者：協議会構成団体関係者、沿線自治体関係者等 計約330名

場所：ニューオータニ札幌 2階 鶴の間

※当日はYouTubeによる同時配信も実施。

開会挨拶

フォーラムの開会に当たって、当協議会会長である鈴木直道北海道知事が、「本道にとって鉄道は、住民生活はもとより、産業・医療の確保にとっても重要な交通基盤。今後も協議会においてオール北海道で利用促進策を展開していきたいと考えているので、皆様のご理解とご協力を賜りたい」旨挨拶をいたしました。



「撮レインフォトコンテスト」授賞式



8月から10月にかけて作品を募集した、協議会主催の「撮レインフォトコンテスト」の優秀作品の紹介と授賞式を行いました(鈴木会長による表彰)。最優秀賞を受賞した加藤未来さんは、「この賞をもらえて光栄。子どもが、列車に乗るのが好きなので、これからも列車に乗って北海道の素敵な景色をたくさん見たい」と喜びの声を聞かせてくださいました。

基調講演

北海道大学大学院工学研究院教授の岸邦宏氏から、「北海道鉄道ネットワークの課題とこれから」をテーマに講演をしていただきました。

岸教授からは

- 道民が「乗らないと公共交通はなくなる」という危機感をどれだけ持てるか。
 - 事業者は「自分だけが良ければ良い」という考え方から脱却し、**事業者間連携**を検討するべき。
- といった内容で、わかりやすくご説明をいただきました。



トークセッション「みんなで乗れば、未来が変わる」

本フォーラムのメインテーマである「みんなで乗れば、未来が変わる」をタイトルとしたトークセッションを行い、3名のパネリストの方から「①北海道の鉄道の魅力」と「②鉄道活性化のためのアイデア」について、それぞれご意見をいただきました。



六角 精児 さん (俳優・ミュージシャン) のご意見(抜粋)

- ①北海道の雄大な景色・大自然を眺められる車窓が、北海道の鉄道の最大の魅力。特に私が大好きなのは「黄線区」といわれる区間の車窓。
- ②網羅的な取組ではなく、豪華列車やトロッコ列車といった乗車を楽しむものに特化すること、シニアや女性にターゲットを絞る、といった考え方も取り入れてみては。

岸 邦宏 さん (北海道大学大学院工学研究院教授) のご意見(抜粋)

- ①鉄道による移動空間は自分の時間として自由に活用でき、かつ安心安全な乗り物として広大な北海道の移動を楽しめる。
- ②鉄道を使った観光は、どれだけたくさんの目的地を訪問できるかが重要なポイント。駅からの二次交通の充実のため、鉄道とバスの連携は大事。



山崎 雅生 さん (国土交通省鉄道局鉄道事業課長) のご意見(抜粋)

- ①環境問題に意識が高い欧米の方々の移動は、鉄道が基本。北海道は、鉄道ならではの景色を各地で楽しめるので、インバウンドへの訴求効果が高い。
- ②鉄路を残すには、収益増の仕組みづくりが必要。観光列車の料金を北海道の魅力に見合ったものとし、インバウンドの方に価格相応の価値があることをPRするのも効果的。

上記の内容は、フォーラムから一部を抜粋したものです。

当日の様子は令和6年3月31日まで[協議会YouTubeチャンネル](#)で御覧いただけます！